

佐賀県知事 山口 祥義 様

住 所 東京都千代田区大手町2-6-2
団 体 名 特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル
代表者職・氏名 理事長 林 恵子

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和年2月8日付け県協第2060号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和2年度寄附金活用実績報告書

事業名	佐賀県内の児童養護施設等入所者・退所者向けの自立支援事業
寄附受入額	873,680円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	<p>児童養護施設や里親家庭で育つ子どもたちへの自立支援、退所後支援は、子どもたちが貧困の連鎖を断ち、自立した生活を送る上で欠かせない支援となっており、近年、その必要性は広く認知され、各地でもプログラムが試行されています。しかし、困難を抱えた子どもたちへの支援の難しさに加え、行政予算が限られていること、多様な協力者をマネジメントする必要があることなどから、効果的かつ継続的に事業を実施できる支援団体は限られています。支援団体がない地域では、子どもたちへの支援が広がりません。</p> <p>当団体が14年かけて培った運営ノウハウで支援活動が行われていない佐賀県に進出することで地域間格差を無くし、どんな環境で生まれ育った子どもたちも、夢と希望を持って暮らせる社会を目指します。</p>
事業実施の成果・効果 (見込み)	<p>※ 提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。</p> <p>児童養護施設を卒園する高校生に、よりリアルな自立のための知識が身につく。</p> <p>同じく児童養護施設を卒園する高校生に、卒園後相談できる社会資源のひとつとしてブリッジフォースマイルという存在があると認識してもらえる。</p> <p>→高校3年生向け巣立ちプロジェクト 佐賀県内5施設より17名参加。</p> <p>→施設退所後のマンツーマン支援 6名継続</p> <p>児童養護施設で暮らす中学生高校生のキャリア教育、就労に向けての支援が手厚くなる。</p> <p>佐賀県で児童養護施設についての理解が広がり、偏見が払拭される。</p> <p>→ボランティア登録会2回実施。17名の社会人ボランティアが活躍中。</p> <p>→マンツーマン支援のためのボランティア養成講座 2回実施。6名受講。</p> <p>→里親会等でのB4S支援プログラムの告知、啓発活動実施 2回実施。</p>

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		佐賀県内の児童養護施設等入所者・退所者向けの自立支援事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	873,680	今回申請：873,680円 ※決算時に不足分は自己財源から補てん。
	助成金	410,000	
	収入計	1,283,680	
支 出	職員給与	608,256	東京スタッフ、佐賀スタッフ
	福利厚生費	38,924	職員給与の約6%
	宿泊費	107,300	出張宿泊、長期出張ウィークリーマンション代
	旅費	34,205	東京スタッフの交通費、ボランティア交通費等
	ふるさと納税返礼品購入費	66,000	
	ポイントプレゼント購入費	428,995	高校3年生向け生活必需品プレゼント購入費
支出計	1,283,680		

- 支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。
経理上の区分名で記載して構いません。
- 領収書等は事業終了後5年間保存してください。